

久山中便り

久山中学校
令和7年9月30日発行
第43号

みどりコミュニケーション 身だしなみ生徒集会

昨年度、見直しをした「身だしなみルール」。細かなルールが改正されましたが、その基盤となる久山中の「身だしなみとは何か」が、明確ではありませんでした。

そこで、生徒会役員が取り組んだことが「身だしなみの理念」を確立させるということ。今回は、その理念を生徒集会で発表しました。その内容を紹介します。

久山中の「身だしなみ」とは、次の三つを大切にしています。

一つは、「自らを肯定すること」。自分自身を受け入れ大切に感じる感覚です。服装や髪型を整えることで、自分を好きになり、自信につながります。髪の毛や服装を気にすることが少なくなれば、授業にも集中することができそうです。

二つは、「どんな人にも配慮すること」。自分以外の人を不快にしないことです。清潔感のある服装ができていることが大切です。

眉が細くなり周りの人が怖い思いをしていないか、特異な髪形で他者の授業の妨げになっていないかなどです。

三つは、「理解のある社会」。性別や国籍、文化などの違いを超えて支え合いながら共に生きていく社会のことです。同じ制服を着ていると仲間意識が生まれ、誰でも良好な関係が築けます。学校という学びの場にふさわしい身だしなみをしていれば、不信感を持たれることもなく、話し合い活動や人間関係がスムーズになります。

この三つの頭文字をとった久山中の身だしなみの合言葉が「みどりコミュニケーション」です。

久山中生徒全員が、自らを肯定することで自分を好きになり、どんな人にも配慮ができる清潔感ある服装を整え、理解ある社会の実現でコミュニケーションが取れる学びの場にふさわしい服装を意識できるように、今後身だしなみについて考えていきましよう。

いかがですか。生徒会役員が考えた久山中の身だしなみの合言葉。とても素敵です。

学びの場にふさわしい身だしなみ理念は、これからの久山中に受け継



がれるべきものだと感じました。

「受験は団体戦」(三年生)

三年生の学力分析テストを実施しました。これからの時期からは、一つ一つのテストが進路選択の重要な資料となりますし、三年生にとっては大切な時間です。

そこで、学校の時制も三年生のテストに合わせて変更しています。(授業の合間が15分官) そうなると、一・二年生にとっては、休み時間が長くなり少し間延びします。

「受験は団体戦」という言葉をよく使います。受験するのは、個人ですが、それを支えるおうちの人や仲間、先生方など、多くの人の支援があつて、進路を決める受験に挑戦していきます。

一・二年生も、三年生を支援する同じ学校の仲間です。これまでリーダーシップを発揮してくれた三年生への感謝の思いを込めて、受験を最後まで応援していきましよう。がんばれ、三年生。

